



みんなで考えよう  
**平和と人権**  
「人権文化をもつる市民運動」



伸ちゃんの三輪車(奇贈/鎌谷信男)



滋君の弁当箱(奇贈/折免シゲコ)



原爆ドーム(撮影/米軍・提供/広島平和記念資料館)

# ヒロシマ原爆展

平成30年 **入場無料**

**8月19日(日)**  
**~26日(日)**

\*8月21日(火)は休館日

平日・土/9時~21時30分

日・祝/9時~17時

図書閲覧コーナー・折り鶴コーナーは17時まで

**芦屋市民センター展示場**

〒659-0068 芦屋市業平町8番24号

オープニングセレモニー

**記念講演会**

日時 **8月19日(日)**

13時30分~15時30分  
\*開場13時

講師 **渡部 陽一さん**

戦場カメラマン・ジャーナリスト

テーマ **「戦場からのメッセージをあなたに」**

~ファインダー越しに見た命の現場~

会場 **ルナ・ホール**

**定員 当日先着600人**

\*講演会の前にオープニングセレモニー、小学生の描いた平和ポスター展入賞者の表彰式を行います。

託児あり **手話通訳・要約筆記あり**

対象年齢6ヶ月~就学前児の託児(無料)

※託児希望者は、8月10日(金)までに人権推進課へ要申込み



**被爆体験証言会** | 被爆体験者による講話

日時 8月25日(土)/①10時~11時  
②13時15分~14時15分  
8月26日(日)/①10時~11時

**被爆体験記朗読会** | 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館朗読ボランティアによる朗読

日時 8月25日(土)/①11時15分~12時15分  
②14時30分~15時30分  
8月26日(日)/①11時15分~12時15分

上記、「被爆体験証言会」「被爆体験記朗読会」共に **場所** 市民センター 301室 **定員** 当日先着160人(入場無料) **手話通訳あり**

●主催/芦屋市・芦屋市教育委員会・広島市 ●後援/芦屋市議会 ●協力/国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

問い合わせ/〒659-8501芦屋市精道町7-6 人権推進課 TEL.0797-38-2055 FAX.0797-38-8694



『戦争の犠牲者はいつも子どもたち』。

これがいかなる戦争であつても変えることのできない現実でありました。

世界で戦争が続く限り、紛争地に立たされる子どもたちの声を

たくさんの方に届けたいと思っています。

戦場カメラマン 渡部陽一



焼け焦げた水筒(寄贈/山本邦義)



ヘルメット(寄贈/鎌谷信男)



定期入れ(寄贈/船附小子)

写真パネルや被爆者が自ら描いた絵などを展示しています。また、期間中には、被爆体験証言会や被爆体験記朗読会を開催します。被爆の実相に触れ、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の切なる思いを聴き、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け、新たな一歩を踏み出す機会となることを心から期待しています。

1945年8月6日、広島に放たれた一発の原子爆弾は、一瞬のうちに街を焼き尽くし、子どもからお年寄りまで罪もない多くの人々を殺りくし、その年の暮れまでに14万もの尊い命を奪いました。辛うじて生き延びた人々も、放射線による障がいや差別・偏見に苦しみ、心身に負った深い傷は今なお消えることはありません。にもかかわらず、現在、世界には、地球をも破壊しかねない約1万5千発もの核兵器が存在し、日本を含む多くの国と市民の安全が脅かされています。会場では、被爆者の遺品のほか、



変形したガラス瓶(ビール瓶)  
(寄贈/寺岡たね子)



バックル(寄贈/山田紀子)

## 展示内容

被爆資料及び原爆被災写真等のパネルの展示

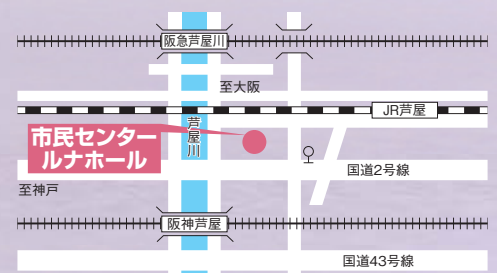
被爆資料20点・パネル約35点・原爆の絵約30点

図書閲覧コーナー／折り鶴コーナー

来館者による平和へのメッセージコーナー



佐々木禎子さんの折り鶴(寄贈/佐々木繁夫・佐々木雅弘)  
(被爆資料所蔵/広島平和記念資料館)



- 阪神芦屋駅・阪急芦屋川駅から徒歩7分
- JR芦屋駅から徒歩8分